



モユク・カムイ90

NO.

○モユク・カムイとはアイヌ語で「エゾタヌキ」のことです。 July 2016

ASAHIYAMA ZOO NEWS

まさひやまどうぶつえんニュース

もくじ

- ぼくは動物大使 その51 1.2
- 村の守り神シマフクロウ 1.2
- 特集、雨でも楽しい動物園 3.4
- 飼育研究レポート
キングペンギンの仮親を用いた育雛について 5
- 動物園裏側紹介
動物園の台所「調理棟」編 6
- 主なできごと・もうじゅう館・出産ラッシュ!
編集後記・飼育動物数 7



シマフクロウ

• *Ketupa blakistoni*

シマフクロウ

Ketupa blakistoni

フクロウ目 フクロウ科

ユーラシア大陸極東沿岸地域と北海道周辺にのみ生息し、日本で見られるフクロウ類の中で最も大きい。大陸に生息する*K.b.doerriesi*、北海道、サハリン、千島列島に生息する*K.b.blakistoni*の2亜種に分類される。種としての個体数は1500~4000羽と推定され、日本では森林伐採による営巣木の減少、河川改修やダム建設による魚類の減少が原因となり生息数は140羽ほど。環境省により絶滅危惧IA類に指定されている。

分布



上記のQRコードを読み取って迫力の捕食シーンを事前にチェック!これが生でみられるかも?※旭山動物園公式YouTubeに接続されます。



ぼくは動物 村の守り神

大使 その51 シマフクロウ

食べ物

魚類が主食。他にはカエルなど両生類や鳥類、小型の哺乳類など。旭山ではニジマスやホッケを給餌。

体

- 全長 60-72cm
- 翼開長 178-190cm
- 体重 3.1-4.4kg

鳴き声

ボウボウ(オスの声)、ヴォー(メスの声)と響くような野太い鳴き声。はじめにオスが2節鳴き、メスが1節で鳴き交わす。



シマフクロウの趾(左)と ワシミミズクの趾(右)

趾

他のフクロウ類は主にネズミなどを捕食するため羽毛が生えているが、シマフクロウは魚食で水に入るため趾に羽毛がない。(ウオケイフクロウの仲間の特徴)



羽音

ネズミ類を主食とするフクロウは獲物に気付かれないと羽ばたいても音がしない。一方、シマフクロウは獲物の魚が水中にいるので飛ぶとバサバサ音がする。

夜の動物園におすすめ!!

夜行性のシマフクロウを観察するならなんと言っても夜の動物園の期間中が一番のおすすめ。昼間にはなかなか見られない餌を食べるシーンや、運が良ければ鳴き声も聞こえるかも!?※今年の夜の動物園は8月9-15日です。

シマフクロウの未来へ向けた取り組み

現在、シマフクロウを保護するために官民が一体となってさまざまな取り組みが行われています。

- ・営巣できる大径木がないため人工巣箱の設置
- ・シマフクロウの生息環境を守るための植林
- ・エサ不足を解消するための給餌用生け簀の設置
- ・交通事故に遭わないための防止対策などがあります。

繁殖

旭山のロロとモコの 今後の繁殖に期待!

大木の樹洞で繁殖する。3月頃に通常2卵産卵し、抱卵期間は35日間ほど。卵は二ワトリよりも丸くおよそ90g。ヒナは約2ヶ月で巣立ちする。



設置が
進められている
人工巣箱

動物園でシマフクロウを飼育する意義とは?

野生の個体数が140羽ほどしかいないシマフクロウをなぜ動物園で飼育するのか?野生に戻してあげた方がいいのではないか?そんな疑問を持たれる方もいるかもしれません。

動物園でシマフクロウを飼育するのには大きく2つの意義があります。一つ目は「域外保全」です。生息地での保全活動(域内保全)とは別に、飼育下で繁殖研究をおこなったりすることで遺伝子プールを保持するのです。そして二つ目は「情報発信」。動物園には様々な世代の多くの人が訪れます。そこで実際にシマフクロウを見てもらい、生態や現状について知ってもらうことが重要なのです。

旭山のシマフクロウ

ロロ(オス) 1997年生まれ



釧路市動物園で繁殖した個体。旭山に最初に来たシマフクロウの「ロック」の叔父にあたる。

モコ(メス) 2011年生まれ



道東で保護された野生由来の個体。右目に怪我をしており失明しているが、飼育下での生活に支障はない。

雨でも楽しい動物園

「今日は雨かあ～」「雨だし動物園に行くのはやめておこう…」雨が降るとテンションが上がらない人も多いでしょう…でも、それはもったいない！雨は必ず降ってくる。それなら雨も楽しんでもらおう！動物園の動物たちも、雨の日にしか観ることの出来ない姿があります。

今回は、雨の日の動物園の注目ポイントや、楽しめるポイントを紹介します。

雨の日の楽しみ方 動物たちの姿・痕跡

動物によっては、雨の当たらない場所でじっとしている時間が長くなります。

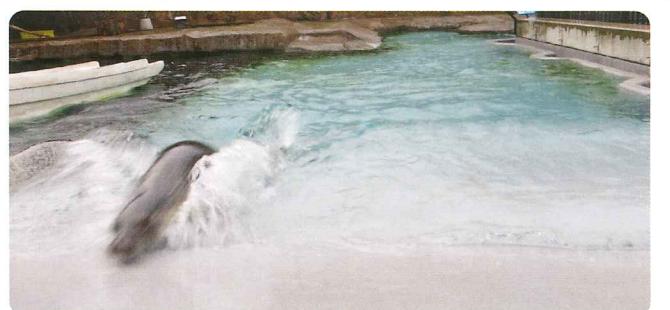
これはチャンスと、動かない動物たちをじっくり観察してみましょう。なぜその色？など疑問に思うことがたくさんあるはずです。また、放飼場には動物たちの足跡が残っているかもしれません。



雨が降ると活発な動物たち

イワトビペンギンやゴマフアザラシなど、水中で活動する動物たちは元気一杯！晴れている日より活発に活動することもあります。

アザラシは雨脚が強くなるほど楽しく？なるらしく、水面をジャンプしたりする行動が多く観察できるようになります。注目してみましょう！



ゆっくり・じっくり歩こう！

旭山動物園には動物舎が28施設あります。そのうち、およそ半分の施設に屋根があり、雨に当たらず動物たちを観察することができます。

各館には動物たちの情報満載の手書き看板が展示してあります。じっくりゆっくり読んでみましょう。こども牧場などもおすすめです。



動物図書館に行こう！

動物図書館には、動物関連の図書が多数あり、動物たちのことを詳しく調べることができます。調べてから園内の動物たちを観察すると、よりおもしろい発見があるかもしれません。

また、折り紙絵本を作成することもできます。天気に関係なく遊びに行きましょう！



まずい…急に雨が降ってきた！

「突然、雨が降ってきた。雨の準備なんかしていない…そんな時でも大丈夫！雨具は動物園でレンタルできます。

突然の雨の際は、園内スタッフに遠慮なくお声がけください。



◀レンタルの傘
※レンタル傘は、西門前駐車場より毎年寄贈していただいている。

[レンタルポイント]

- ・レンタル傘
正門、西門、東門
- ・ビニールすきん
サポートセンター

芸術のあ…雨！

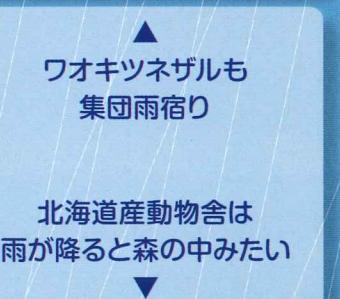
飼育展示スタッフが、雨の日に園内に飛び出し、雨の日にしか撮ることの出来ない写真を撮影してきました。掲載されているもの以外にもたくさんの美しい・楽しい光景があるはずです。それぞれの感性で探しに行きましょう。



【こっそり情報】
動物にもりますが、雨でもガイドは行います。参加者が少人数なら飼育スタッフと密なコミュニケーションがとれるかも…。

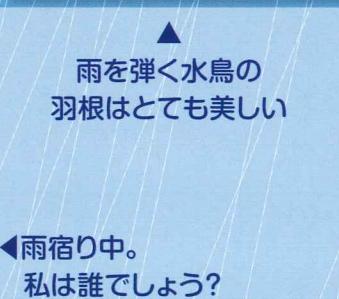
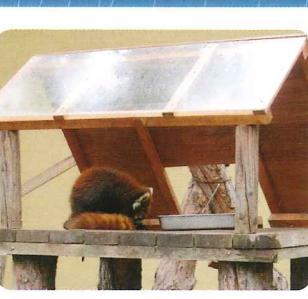


【こっそり情報】
今回の特集をきっかけに、こども限定 カエルポンチョの制作を検討中。実現するかはわかりませんが…続報を待たれよ。



▲
ワオキツネザルも
集団雨宿り

北海道産動物舎は
雨が降ると森の中みたい



▲
雨を弾く水鳥の
羽根はとても美しい

◀雨宿り中。
私は誰でしょう？



【こっそり情報】
大雨の時に、館内で不定期特別ガイドが人知れず行われている場合があるみたい。「ペン」がつく場所と「こど」がつく場所ですって。



▲
木は雨が直接地面に
落ちるのを防ぐんだね
◀ライオンの放飼場。
人工の屋根と天然の屋根

今回は、雨の日の動物園の楽しみ方、魅力を集めてみました。と、言ってもなかなか雨を好きになれないかもしれません。しかし、雨が降るからこそ、私たちは生活の中で水を使うことができます。食べ物を作るのにも、必ず水が必要です。「雨が嫌い」ではなく、「雨も大切だよね」という気持ちを持つことが、自然を大切にする気持ちに繋がっていくのではないでしょうか。

これからも雨の楽しみ方を考え、イベントなど行うかもしれません。ぜひ、1年を通して、天気に関係なく動物園に遊びに来てください。いろいろな動物を、自然を知り、学び、楽しんでいただくのが動物園です。さて、雨だし動物園に行こう！

主なできごと

3月6日 天売猫のおはなし会・譲渡会開催



4月2日

ダイハツ工業株式会社より「ボルネオへの恩返しプロジェクト」への軽トラック寄贈式および感謝状贈呈式開催



8日 シマフクロウ・ロック

釧路市動物園へ搬出(返却)

9日 シマフクロウ・ロロ(オス)とモコ(メス)

釧路市動物園より来園

レッサーパンダ・栄栄(メス)

那須どうぶつ王国へ搬出

ワオキツネザル・フランネの子死亡

(外傷による肝臓損傷)

11日 東京都より保護されたオオタカ3羽
(オス2羽、メス1羽)来園

12日 ワオキツネザル・ナスカ出産(オス)

23日 飼育勉強会

29日 ゴマファザラシ・まめ出産(死産)

4日 飼育勉強会

8日 アムールトラ・ザリア出産

(3頭出産・うち1頭死産)

14日 シンリンオオカミ・ミナ(メス)と
カナダヅル平川動物公園へ搬出

19日 ユキヒョウ・ジーマ出産(2頭)

23日 ユキヒョウ子1頭死亡(衰弱)

25日 ニホンザル・モドキ(メス)死亡(老衰)

29日 夏期開園日

5月4日 オオワシ(北海道産動物舎)孵化

8日 自然観察会

「野山で春を感じよう!野鳥・草花観察会」

もうじゅう館・出産ラッシュ!

編集後記

4月8日にアムールトラ、19日にユキヒョウともうじゅう館で出産が続きました。どちらも昨年は出産したものの生育せず、残念な結果となっていました。担当者はその後、産室を改善したりと「今年こそ繁殖成功!」と意気込んでいました。

予定日が近くなると、毎日どきどきする日々でしたが、無事出産し親が育児をしている様子を確認でき、一安心となりました。

それぞれ生後2ヶ月くらいから屋外に出る練習をはじめ、6月下旬からは展示を開始しています。ぜひ会いに来て下さいね。



アムールトラの赤ちゃん



ユキヒョウの赤ちゃん

昨年に続いて雪の全くなない春の開園準備でした。雪割り(雪を崩して、早く溶けるようにすること)がまったくなく、飼育係としては楽な反面、ちょっとものたりなかったりも?

その分、制作物や看板の更新にしっかり時間をかけることが出来ました。続々デビューする動物の赤ちゃんだけでなく、飼育係の力作にも注目してみて下さい(中村)

ミュク・カムイ No.90 平成28年7月15日

●発行所／旭川市旭山動物園

〒078-8205 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104

●発行／坂東 元 ●表紙絵：中田 真一

●編集／丸 一喜・高橋 伸広・大内 章広・鈴木 悠太・中村 亮平・佐賀 真一

●印刷／株須田製版

〒070-8045 旭川市忠和5条8丁目3-1 ☎0166-62-2266

飼育動物数

2016年5月末現在

●哺乳類 46種・274点

●鳥類 63種・328点

●は虫類 5種・17点

●合計 114種・619点